

事業計画書

1. 事業名称 家庭生ごみ堆肥づくり事業

2. 実施主体

- 団体名：まつど生ごみ資源化の会
- 事業担当課：環境計画課・環境業務課

3. 取り組もうとする課題

現状では家庭から出される「生ごみ」は、「燃やせるごみ」として分別され、市内の焼却施設で焼却処理されています。

これを資源化（リサイクル）することは、限りある資源の再利用に向けた取り組みとして重要と思います。

この取り組みは松戸市が目指している資源循環型社会の構築に向けた「ごみ処理基本計画」における3R施策（リデュース、リユース、リサイクル）を進めるために行動します。

本事業の実施によって、適正な地域内で市民が取り組める家庭生ごみの「堆肥化マニュアル」を提案出来れば良いと考えています。

4. 事業内容及びスケジュール

10世帯分の家庭生ごみを収集し、堆肥づくりを行います。事業協力世帯にプラスチックケースと床材を配布して、定期的に収集し、作業場で発酵させて堆肥を作ります。また、出来上がった堆肥を用いて野菜や花の栽培をします。

日程	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業のチームを発足させる ・協力世帯との話し合いを行う ・作業場の設置 ・堆肥づくり準備作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・7名の協働事業チーム（当団体内） ・10世帯の協力 ・当団体が確保する土地への作業場設置 ・協働事業チーム・協力世帯
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生ごみの定期的収集の開始 ・第一次発酵作業の開始 ・順次、第二次発酵作業の開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業チーム・協力世帯 ・協働事業チーム・協力世帯 ・協働事業チーム・協力世帯
10月～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ収集、堆肥づくりの継続 ・完熟堆肥の完成 ・出来上がった完熟堆肥を用いて、野菜や花の栽培を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業チーム・協力世帯 ・協働事業チーム・協力世帯 ・担当課職員とのPR方法の検討
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・上記作業の継続 ・協働事業報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業チーム・協力世帯 ・協働事業チーム・担当課職員

5. 事業に期待する成果

今回実施する事業は、10世帯分の家庭生ごみを収集して、堆肥づくりを行うものです。事業実施によって、収集の範囲や手順、適切な作業場の規模、効率的な作業の進め方などの検証が期待されます。また、これらの検証は、さらに収集世帯を拡大して生ごみの堆肥化を進めるうえでの課題を、明らかにできると期待されます。

6. 協働の意義

市民活動による資源化は、参加している市民の環境への意識の高揚が図られることになり、その結果、ごみ減量及び資源化が促進され、松戸市がめざしている「資源循環型社会」の構築に寄与できます。

7. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

当団体が借用した土地に、10世帯分の家庭生ごみを収集して堆肥づくりを行います。また、出来た完熟堆肥を用いて野菜や花を栽培します。

そして、成果として「堆肥化マニュアル」をまとめていきます。

■ 担当課の役割

市が目指している「資源循環型社会」の構築には、市民活動による資源化も大切な一つの方策と考えていることから、市民活動のPRなどを行っていきます。

8. 将来の展開

事業終了後に成果、課題などを明らかにし、さらに実効性の高いものにしていきたいと思います。

また、地域の特性に見合った「堆肥化マニュアル」を提案し、条件が整う地域での先進事例がたくさん生まれるように、継続して事業の実施をしていきたいと思っています。

事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

提案者	（自己資金）	金 額	積算内訳
			10,000 円
		10,000 円	諸経費（予算計上）
		2,000 円	寄付金
	自己資金合計（a）	22,000 円	
	労力換算額計（b）	432,000 円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額（c）	190,000 円	
資金合計額（d）（a+c）		212,000 円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項 目	金 額	積算内訳
負担金の交付対象経費	作業場設置	130,000 円	設置資材一式 1,600 円×20 個 パレット、切り返し箱、シートほか モミガラ、米ぬか、赤土ほか
	保存容器	32,000 円	
	作業用資材	40,000 円	
	床材、発酵促進資材	10,000 円	
	対象となる経費合計額（e）	212,000 円	
その他経費			
	その他経費合計額（f）	0 円	
事業費（g）（e+f）		212,000 円	収入合計額（d）と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画	/	人数×時間×回数×500円
	堆肥化作業打ち合わせ会議	84,000円	7人×2h×12回×500円
	床材等準備作業	48,000円	2人×4h×12回×500円
	生ごみ収集作業	54,000円	1人×9h×12回×500円
	堆肥化一次処理作業	54,000円	1人×9h×12回×500円
	堆肥切り返し作業	120,000円	1人×20h×12回×500円
	堆肥化二次処理作業	72,000円	2人×2h×36回×500円
	合計 (b)	432,000円	